

新型コロナウイルス対策に関する対応状況

健康福祉

○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況

- ・本市発表陽性者数：464,380人
- ・死亡者数：519人
- ・市健康安全研究所における検査人数：76,569人、検査数：76,667件 ※5月7日公表分迄
- ・民間検査機関における検査人数：1,296,762人、検査数：1,296,805件 ※5月7日公表分迄

○新型コロナウイルスワクチン 接種状況

- ・接種回数：1回目 1,222,394回・2回目 1,218,706回・3回目 1,006,268回・4回目 583,766回・5回目 270,088回・合計 4,301,222回
 - ・接種率（12歳以上）：1回目 89.20%・2回目 88.93%・3回目 73.43%・4回目 42.60%・5回目 19.71%
- ※5月7日現在

○川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター 24時間対応

- ・令和2年11月2日、神奈川県発熱等診療予約センターが開設したことに伴い、症状があり受診を希望する市民に対して予約センターの案内を行う。令和3年4月1日以降は、症状がある市民にお近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・なおコールセンターは、令和3年4月1日から川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターと名称を変え、新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせだけでなく、新型コロナワクチンに関する一般的な問い合わせにも対応している。令和3年5月10日からはコロナワクチン副反応、令和3年7月からはワクチンパスポートの問い合わせ窓口としての役割も担い、幅広く市民の相談窓口として機能している。
- ・新型コロナの5類移行後も、相談受付項目を「発熱時の受診相談」及び「陽性判明後の体調急変時の相談」とした上で、当面、24時間相談受付体制を継続する。

○神奈川モデルにおける機能別医療機関の病床確保状況

- ・高度医療機関（重症者対応）3施設 69病床
 - ・重点医療機関（中等症者対応）12施設 389病床
 - ・重点医療機関協力病院（軽・中等症者対応）7施設 27病床
 - ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）20施設 93病床
- ※5/7時点。

○川崎市中和抗体療法搬送調整センター ※令和3年10月18日から令和4年11月30日まで

- ・新型コロナの治療薬である中和抗体薬を、本市民により速やか且つ円滑に投与をすることを目的として、「川崎市中和抗体療法搬送調整センター」を設置し、患者と医療機関のマッチングを行っていたが、新型コロナの新たな治療薬が出てきたことなどから令和4年11月30日に調整業務を終了とした。なお、現在は医療機関リストを公開し医療機関同士の調整を行っている。
- ・調整件数は、873件（R3/10/18～R4/11/30）

- 高齢者施設等における従事者への検査の実施**
 - ・神奈川県が日本財団と協定を結び、令和3年5月14日から令和4年3月31日迄に初回申込を行った、高齢者施設等において希望する従事者について、WEB フォームからの申込により、毎週、無料のPCR 検査の実施を行った。(令和4年4月30日迄)
 - ・国の要請に基づく高齢者施設等のクラスター対策として、高齢者・障害者施設及び保育所等のことも関連施設等の従事者に対する集中的検査として国から配分される抗原検査キット等を活用し、検査を実施した。(令和4年12月から令和5年2月末頃迄)
- 市医師会、市薬剤師会、市看護協会との情報共有及び協力体制の構築**
 - ・市内医療関係団体と最新の情報について共有するとともに、年末年始、ゴールデンウィークの医療提供体制を確保した。(県と協働して実施)
 - ・発熱等診療医療機関
 - ・保険薬局
- 発熱患者診療体制の構築**
 - ・令和3年4月1日以降、症状がある市民から新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターに問い合わせがあった際、お近くの発熱診療等医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
 - ・令和3年11月1日以降は、発熱診療等医療機関の情報を市ホームページにも掲載し、市民が医療機関情報によりアクセスしやすい環境を整えた。
 - ・重症化リスクが高い方が発熱診療等医療機関を外来受診できる体制を整備するため、令和4年8月に、発熱等診療医療機関や保険薬局、市内施設の協力のもと、軽症者や濃厚接触者に抗原検査キットを無料配布する事業を県内統一的に実施したほか、市ホームページ、市政だより、デジタルサイネージ等を活用し、リスクの高い方が優先的に受診できるよう市民に協力を呼び掛けた。
- 患者等の PCR 検査実施医療機関等までの搬送支援の実施**
 - ・専用車両で民間事業者への委託により搬送を実施
 - ・R2.5/11～R5.5.7の搬送実績は1,071 営業日で、計 5,649 件(1日平均 5.27 件)
- 自宅療養者対策**
 - ・令和3年12月23日に市医師会、市薬剤師会と地域療養に関する協定を締結し、自宅療養者に対する医療支援体制の強化を図った。
 - ・令和5年度も協定を締結し、継続して実施している。
 - 市医師会：自宅療養者への電話診療、患者宅への往診等
 - 市薬剤師会：自宅療養者の患者宅への薬の配達等
- 生活保護の申請相談状況**
 - ・相談件数 834 件(3/1～3/31)(前年同月件数 878 件)
 - ※うち働きによる収入の減少を理由とした相談件数 87 件(10.4%)
 - ・申請件数 323 件(3/1～3/31)(前年同月件数 298 件)
- 住居確保給付金制度(家賃補助)**
 - ・申請件数 1,019 件(R4 年度)(前年同期間件数 2,341 件)
 - ・支給決定件数 773 件(R4 年度)(前年同期間件数 1,811 件)
 - ・住居確保給付金専用ダイヤル
 - 受電件数 1,395 件(R4 年度)(前年同期間件数 2,517 件)
 - ・だいJOBセンターへの新規相談件数

電話受付件数 3,280 件 (R4 年度) (前年同期間件数 6,592 件)

来所相談件数 1,504 件 (R4 年度) (前年同期間件数 1,416 件)

○**一時的な資金の緊急貸付**

- ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口（各区福祉パル）において実施

※緊急小口資金、総合支援資金（初回貸付）の申請受付は、令和4年9月末まで

総合支援資金（再貸付）の申請受付は、令和3年12月末まで

- ・相談件数 132,043 件、申請受付件数が 35,916 件（緊急小口資金：社協受付分 19,838 件、総合支援資金：初回貸付 15,059 件）となっている。（R2.3/25～R4.9.30）

○**新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金**

- ・社会福祉協議会が実施する特例貸付の利用が終了し、なお生活に困窮している世帯に対し、就労自立や生活保護の受給に円滑につなげるための支援金を支給

- ・厚生労働省社会・援護局長通知「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金について」（令和4年9月9日付け社援発0909第13号）に基づき、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の申請期限が令和4年12月31日まで延長され、本支援金の支給期間が3月間であることから、令和5年3月31日をもって本事業は終了。

- ・申請件数 3,065 件 (R3.7月～R5.3月末)

- ・支給決定件数 2,523 件 (R3.7月～R5.3月末)

- ・自立支援金コールセンター受電件数 11,719 件 (R3.7月～R5.3月末)

新型コロナウイルス対策に関する対応状況

健康福祉

○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況

- ・本市発表陽性者数：457,905人
- ・死亡者数：516人
- ・市健康安全研究所における検査人数：76,534人、検査数：76,632件 ※2月28日公表分迄
- ・民間検査機関における検査人数：1,231,927人、検査数：1,231,970件 ※2月28日公表分迄

○新型コロナウイルスワクチン 接種状況

- ・接種回数：1回目 1,221,333回・2回目 1,217,529回・3回目 1,001,685回・4回目 576,869回・5回目 264,193回・合計 4,281,609回
- ・接種率（12歳以上）：1回目 89.12%・2回目 88.84%・3回目 73.09%・4回目 44.55%・5回目 20.40%

※2月28日現在

○川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター 24時間対応

- ・令和2年11月2日、神奈川県発熱等診療予約センターが開設したことに伴い、症状があり受診を希望する市民に対して予約センターの案内を行う。令和3年4月1日以降は、症状がある市民にお近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・なおコールセンターは、令和3年4月1日から川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターと名称を変え、新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせだけでなく、新型コロナワクチンに関する一般的な問い合わせにも対応している。令和3年5月10日からはコロナワクチン副反応、令和3年7月からはワクチンパスポートの問い合わせ窓口としての役割も担い、幅広く市民の相談窓口として機能している。

○神奈川モデルにおける機能別医療機関の病床確保状況

- ・高度医療機関（重症者対応）3施設 69病床
- ・重点医療機関（中等症者対応）12施設 389病床
- ・重点医療機関協力病院（軽・中等症者対応）7施設 27病床
- ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）20施設 93病床

※2/28時点。今後も感染状況を踏まえた病床の確保を図る。

○川崎市中和抗体療法搬送調整センター ※令和3年10月18日から令和4年11月30日まで

- ・新型コロナの治療薬である中和抗体薬を、本市民により速やか且つ円滑に投与をすることを目的として、「川崎市中和抗体療法搬送調整センター」を設置し、患者と医療機関のマッチングを行っていたが、新型コロナの新たな治療薬が出てきたことなどから令和4年11月30日に調整業務を終了とした。なお、現在は医療機関リストを公開し医療機関同士の調整を行っている。

- ・調整件数は、873件（R3/10/18～R4/11/30）

○高齢者施設等における従事者への検査の実施

- ・神奈川県が日本財団と協定を結び、令和3年5月14日から令和4年3月31日迄に初回申込を行った、高齢者施設等において希望する従事者について、WEB フォームからの申込により、毎週、無料のPCR 検査の実施を行った。(令和4年4月30日迄)
- ・国の要請に基づく高齢者施設等のクラスター対策として、高齢者・障害者施設及び保育所等のこども関連施設等の従事者に対する集中的検査として国から配分される抗原検査キット等を活用し、検査を実施した。(令和4年12月から令和5年2月末頃迄)
- 市医師会、市薬剤師会、市看護協会との情報共有及び協力体制の構築**
 - ・市内医療関係団体と最新の情報について共有するとともに、ゴールデンウィーク、年末年始の医療提供体制を確保した。(県と連携して実施)
 - ・発熱等診療医療機関
 - ・保険薬局
- 発熱患者診療体制の構築**
 - ・令和3年4月1日以降、症状がある市民から新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターに問い合わせがあった際、お近くの発熱診療等医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
 - ・令和3年11月1日以降は、発熱診療等医療機関の情報を市ホームページにも掲載し、市民が医療機関情報によりアクセスしやすい環境を整えた。
 - ・重症化リスクが高い方が発熱診療等医療機関を外来受診できる体制を整備するため、令和4年8月に、発熱等診療医療機関や保険薬局、市内施設の協力のもと、軽症者や濃厚接触者に抗原検査キットを無料配布する事業を県内統一的に実施したほか、市ホームページ、市政だより、デジタルサイネージ等を活用し、リスクの高い方が優先的に受診できるよう市民に協力を呼び掛けた。
- 患者等の PCR 検査実施医療機関等までの搬送支援の実施**
 - ・専用車両で民間事業者への委託により搬送を実施
 - ・R2.5/11～R5.2.28 の搬送実績は 1,003 営業日で、計 5,611 件 (1 日平均 5.59 件)
- 自宅療養者対策**
 - ・令和3年12月23日に市医師会、市薬剤師会と地域療養に関する協定を締結し、自宅療養者に対する医療支援体制の強化を図った。
 - ・令和4年度も協定を締結し、継続して実施している。
 - 市医師会：自宅療養者への電話診療、患者宅への往診等
 - 市薬剤師会：自宅療養者の患者宅への薬の配達等
- 生活保護の申請相談状況**
 - ・相談件数 802 件 (1/1～1/31) (前年同月件数 846 件)
 - ※うち働きによる収入の減少を理由とした相談件数 81 件 (10.1%)
 - ・申請件数 312 件 (1/1～1/31) (前年同月件数 293 件)
- 住居確保給付金制度 (家賃補助)**
 - ・申請件数 902 件 (R4.4/1～R5.1/31) (前年同期間件数 1,974 件)
 - ・支給決定件数 684 件 (R4.4/1～R5.1/31) (前年同期間件数 1,595 件)
 - ・住居確保給付金専用ダイヤル
 - 受電件数 1,193 件 (R4.4/1～R5.1/31) (前年同期間件数 2,139 件)
 - ・だいJOBセンターへの新規相談件数
 - 電話受付件数 2,686 件 (R4.4/1～R5.1/31) (前年同期間件数 6,179 件)

来所相談件数 1,508 件 (R4.4/1~R5.1/31) (前年同期間件数 1,145 件)

○**一時的な資金の緊急貸付**

- ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口（各区福祉パル）において実施
- ※緊急小口資金、総合支援資金（初回貸付）の申請受付は、令和4年9月末まで
総合支援資金（再貸付）の申請受付は、令和3年12月末まで
- ・相談件数 132,043 件、申請受付件数が 35,916 件（緊急小口資金：社協受付分 19,838 件、総合支援資金：初回貸付 15,059 件）となっている。(R2.3/25~R4.9.30)

○**新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金**

- ・社会福祉協議会が実施する特例貸付の利用が終了し、なお生活に困窮している世帯に対し、就労自立や生活保護の受給に円滑につなげるための支援金を支給
- ・申請件数 3,065 件 (R3.7月~R5.2月末)
- ・支給決定件数 2,522 件 (R3.7月~R5.2月末)
- ・自立支援金コールセンター受電件数 11,671 件 (R3.7月~R5.2月末)

新型コロナウイルス対策に関する対応状況

健康福祉

○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況

- ・本市発表陽性者数：345,632人
- ・死亡者数：431人
- ・市健康安全研究所における検査人数：73,363人、検査数：73,461件 ※10月14日公表分迄
- ・民間検査機関における検査人数：938,887人、検査数：938,930件 ※10月14日公表分迄

○新型コロナウイルスワクチン 接種状況

- ・接種回数：1回目1,233,710回・2回目1,228,778回・3回目962,319回・4回目334,810回・合計3,759,617回
- ・接種率（12歳以上）：1回目88.81%・2回目88.50%・3回目70.12%・4回目25.85%
※10月13日現在

○川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター 24時間対応

- ・令和2年11月2日、神奈川県発熱等診療予約センターが開設したことに伴い、症状があり受診を希望する市民に対して予約センターの案内を行う。令和3年4月1日以降は、症状がある市民にお近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・なおコールセンターは、令和3年4月1日から川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターと名称を変え、新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせだけでなく、新型コロナワクチンに関する一般的な問い合わせにも対応している。令和3年5月10日からはコロナワクチン副反応、令和3年7月からはワクチンパスポートの問い合わせ窓口としての役割も担い、幅広く市民の相談窓口として機能している。

○神奈川モデルにおける機能別医療機関の病床確保状況

- ・高度医療機関（重症者対応）3施設 69病床
 - ・重点医療機関（中等症者対応）12施設 389病床
 - ・重点医療機関協力病院（軽・中等症者対応）7施設 27病床
 - ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）20施設 93病床
- ※10/14時点。今後も感染状況を踏まえた病床の確保を図る。

○川崎市中和抗体療法搬送調整センター ※令和3年10月18日から開始

- ・新型コロナの治療薬である中和抗体薬を、本市民により速やか且つ円滑に投与をすることを目的として、「川崎市中和抗体療法搬送調整センター」を設置し、患者と医療機関のマッチングを行っている。
- ・現時点での調整件数は、840件（R3/10/18～R4/10/14）

○高齢者施設等における従事者へのPCR検査の実施

- ・神奈川県が日本財団と協定を結び、令和3年5月14日から令和4年3月31日迄に初回申込を行った、高齢者施設等において希望する従事者について、WEBフォームからの申込により、毎週、無料のPCR検査の実施を行った。（令和4年4月30日迄）

○市医師会、市薬剤師会、市看護協会との情報共有及び協力体制の構築

- ・市内医療関係団体と最新の情報について共有するとともに、ゴールデンウィーク期間中の医療提供体制を確保した。(県内統一的に実施)
 - ・発熱等診療医療機関
 - ・保険薬局

○発熱患者診療体制の構築

- ・令和3年4月1日以降、症状がある市民から新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターに問い合わせがあった際、お近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・令和3年11月1日以降は、発熱等診療医療機関の情報を市ホームページにも掲載し、市民が医療機関情報によりアクセスしやすい環境を整えた。
- ・令和4年8月に、重症化リスクが高い方が発熱等診療医療機関を外来受診できる体制を整備するために、発熱等診療医療機関や保険薬局、市内施設の協力のもと、軽症者や濃厚接触者に抗原検査キットを無料配布する事業を行った。(県内統一的に実施)

○患者等のPCR検査実施医療機関等までの搬送支援の実施

- ・専用車両で民間事業者への委託により搬送を実施
- ・R2.5/11～R4.10.14の搬送実績は869営業日で、計4,814件(1日平均5.54件)

○自宅療養者対策

- ・令和3年12月23日に市医師会、市薬剤師会と地域療養に関する協定を締結し、自宅療養者に対する医療支援体制の強化を図った。
- ・令和4年度も協定を締結し、継続して実施している。
 - 市医師会：自宅療養者への電話診療、患者宅への往診等
 - 市薬剤師会：自宅療養者の患者宅への薬の配達等

○生活保護の申請相談の状況

- ・相談件数 798件(8/1～8/31)(前年同月件数821件)
 - ※うち働きによる収入の減少を理由とした相談件数 82件(10.3%)
- ・申請件数 243件(8/1～8/31)(前年同月件数320件)

○住居確保給付金制度(家賃補助)

- ・申請件数 600件(R4.4/1～9/30)(前年同期間件数1,418件)
- ・支給決定件数 468件(R4.4/1～9/30)(前年同期間件数1,136件)
- ・住居確保給付金専用ダイヤル
 - 受電件数 797件(R4.4/1～9/30)(前年同期間件数1,436件)
- ・だいJOBセンターへの新規相談件数
 - 電話受付件数 1,571件(R4.4/1～9/30)(前年同期間件数4,288件)
 - 来所相談件数 900件(R4.4/1～9/30)(前年同期間件数671件)

○一時的な資金の緊急貸付

- ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口(各区福祉パル)において実施
 - ※緊急小口資金、総合支援資金(初回貸付)の申請受付は、令和4年9月末まで
 - 総合支援資金(再貸付)の申請受付は、令和3年12月末まで

- ・相談件数 129,162 件、申請受付件数が 35,204 件（緊急小口資金：社協受付分 19,465 件、総合支援資金：初回貸付 14,720 件）となっている。（R2.3/25～R4.8.31）

○**新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金**

- ・社会福祉協議会が実施する特例貸付の利用が終了し、なお生活に困窮している世帯に対し、就労自立や生活保護の受給に円滑につなげるための支援金を支給
- ・申請件数 2,814 件（7月～R4.9月末）
- ・支給決定件数 2,286 件（7月～R4.9月末）
- ・自立支援金コールセンター受電件数 11,198 件（7月～R4.9月末）

新型コロナウイルス対策に関する対応状況

健康福祉

○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況

- ・本市発表陽性者数：209,054人
- ・死亡者数：356人
- ・感染経路：家族内16,236人、陽性者と接触9,201人、その他6（ライブ、海外渡航等）、不明・調査中183,611人 ※令和4年7月15日公表分迄
- ・市健康安全研究所における検査人数：69,262人、検査数：69,360件 ※7月15日公表分迄
- ・民間検査機関における検査人数：664,863人、検査数：664,906件 ※7月15日公表分迄

○新型コロナウイルスワクチン 接種状況

- ・接種回数：1回目1,212,577回・2回目1,208,260回・3回目900,360回・4回目58,384回・合計3,379,581回
- ・接種率（1～3回目：12歳以上、4回目：60歳以上）：1回目88.73%・2回目88.42%・3回目65.89%・4回目15.42% ※7月15日現在

○川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター 24時間対応

- ・令和2年11月2日、神奈川県発熱等診療予約センターが開設したことに伴い、症状があり受診を希望する市民に対して予約センターの案内を行う。令和3年4月1日以降は、症状がある市民にお近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・なおコールセンターは、令和3年4月1日から川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターと名称を変え、新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせだけでなく、新型コロナワクチンに関する一般的な問い合わせにも対応している。令和3年5月10日からはコロナワクチン副反応、令和3年7月からはワクチンパスポートの問い合わせ窓口としての役割も担い、幅広く市民の相談窓口として機能している。

○神奈川モデルにおける機能別医療機関の病床確保状況

- ・高度医療機関（重症者対応）3施設 69病床
 - ・重点医療機関（中等症者対応）12施設 389病床
 - ・重点医療機関協力病院（軽・中等症者対応）7施設 27病床
 - ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）20施設 93病床
- ※7/15時点。今後も感染状況を踏まえた病床の確保を図る。

○川崎市中和抗体療法搬送調整センター ※令和3年10月18日から開始

- ・新型コロナの治療薬である中和抗体薬を、本市民により速やか且つ円滑に投与をすることを目的として、「川崎市中和抗体療法搬送調整センター」を設置し、患者と医療機関のマッチングを行っている。
- ・現時点での調整件数は、579件（10/18～7/15）

○高齢者施設等における従事者へのPCR検査の実施

- ・神奈川県が日本財団と協定を結び、令和3年5月14日から令和4年3月31日迄に初回申込を行った、高齢者施設等において希望する従事者について、WEB フォームからの申込により、毎週、無料のPCR 検査の実施を行った。(令和4年4月30日迄)

○市医師会、市薬剤師会、市看護協会との情報共有及び協力体制の構築

- ・市内医療関係団体と最新の情報について共有するとともに、ゴールデンウィーク期間中の医療提供体制を確保した。(県内統一的に実施)
 - ・発熱等診療医療機関
 - ・保険薬局

○発熱患者診療体制の構築

- ・令和3年4月1日以降、症状がある市民から新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターに問い合わせがあった際、お近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・令和3年11月1日以降は、発熱等診療医療機関の情報を市ホームページにも掲載し、市民が医療機関情報によりアクセスしやすい環境を整えた。

○患者等のPCR 検査実施医療機関等までの搬送支援の実施

- ・専用車両で民間事業者への委託により搬送を実施
- ・R2.5/11～R4.7.15の搬送実績は778 営業日で、計3,725 件(1日平均4.78 件)

○自宅療養者対策

- ・令和3年12月23日に市医師会、市薬剤師会と地域療養に関する協定を締結し、自宅療養者に対する医療支援体制の強化を図った。
- ・令和4年度も協定を締結し、継続して実施している。
 - 市医師会：自宅療養者への電話診療、患者宅への往診等
 - 市薬剤師会：自宅療養者の患者宅への薬の配達等

○生活保護の申請相談の状況

- ・相談件数 860 件(5/1～5/31)(前年同月件数723 件)
 - ※うち働きによる収入の減少を理由とした相談件数 83 件(9.7%)
- ・申請件数 315 件(5/1～5/31)(前年同月件数278 件)

○住居確保給付金制度(家賃補助)

- ・申請件数 300 件(R4.4/1～6/30)(前年同期間件数 818 件)
- ・支給決定件数 262 件(R4.4/1～6/30)(前年同期間件数 688 件)
- ・住居確保給付金専用ダイヤル
 - 受電件数 372 件(R4.4/1～6/30)(前年同期間件数 814 件)
- ・だいJOBセンターへの新規相談件数
 - 電話受付件数 767 件(R4.4/1～6/30)(前年同期間件数 2,416 件)
 - 来所相談件数 415 件(R4.4/1～6/30)(前年同期間件数 354 件)

○一時的な資金の緊急貸付

- ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口(各区福祉パル)において実施
 - ※緊急小口資金、総合支援資金(初回貸付)の申請受付は、令和4年8月末まで
 - 総合支援資金(再貸付)の申請受付は、令和3年12月末まで

- ・相談件数 125,344 件、申請受付件数が 34,590 件（緊急小口資金：社協受付分 19,129 件、総合支援資金：初回貸付 14,442 件）となっている。（R2.3/25～R4.6.30）

○**新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金**

- ・社会福祉協議会が実施する特例貸付の利用が終了し、なお生活に困窮している世帯に対し、就労自立や生活保護の受給に円滑につなげるための支援金を支給
- ・申請件数 2,406 件（7月～R4.6月末）
- ・支給決定件数 1,912 件（7月～R4.6月末）
- ・自立支援金コールセンター受電件数 8,977 件（7月～R4.6月末）

新型コロナウイルス対策に関する対応状況

健康福祉

○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況

- ・本市発表陽性者数：167,184人
- ・死亡者数：339人
- ・感染経路：家族内14,948人、陽性者と接触8,901人、その他6（ライブ、海外渡航等）、不明・調査中143,329人 ※令和4年4月20日公表分迄
- ・市健康安全研究所における検査人数：66,881人、検査数：66,979件 ※4月20日公表迄
- ・民間検査機関における検査人数：543,612人、検査数：543,655件 ※4月20日公表分迄

○新型コロナウイルスワクチン 接種状況

- ・接種回数：1回目1,208,490回・2回目1,203,284回・追加714,481回・合計3,126,255回
- ・接種率（全対象者）：1回目88.44%・2回目88.05%・追加52.28% ※4月20日現在

○川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター 24時間対応

- ・令和2年11月2日、神奈川県発熱等診療予約センターが開設したことに伴い、症状があり受診を希望する市民に対して予約センターの案内を行う。令和3年4月1日以降は、症状がある市民にお近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・なおコールセンターは、令和3年4月1日から川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターと名称を変え、新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせだけでなく、新型コロナワクチンに関する一般的な問い合わせにも対応している。令和3年5月10日からはコロナワクチン副反応、令和3年7月からはワクチンパスポートの問い合わせ窓口としての役割も担い、幅広く市民の相談窓口として機能している。

○神奈川モデルにおける機能別医療機関の病床確保状況

- ・高度医療機関（重症者対応）3施設 69病床
 - ・重点医療機関（中等症者対応）13施設 391病床
 - ・重点医療機関協力病院（軽・中等症者対応）5施設 21病床
 - ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）20施設 93病床
- ※4/20時点。今後も感染状況を踏まえた病床の確保を図る。

○川崎市中和抗体療法搬送調整センター ※令和3年10月18日から開始

- ・新型コロナの治療薬である中和抗体薬を、本市民により速やか且つ円滑に投与をすることを目的として、「川崎市中和抗体療法搬送調整センター」を設置し、患者と医療機関のマッチングを行っている。
- ・現時点での調整件数は、359件（10/18～4/20）

○高齢者施設等における従事者へのPCR検査の実施

- ・神奈川県が日本財団と協定を結び、令和3年5月14日から令和4年3月31日迄に初回申込を行った、高齢者施設等において希望する従事者について、WEBフォームからの申込により、毎週、無料のPCR検査の実施を行った。（令和4年4月30日迄）

- 市医師会、市薬剤師会、市看護協会との情報共有及び協力体制の構築
 - ・市内医療関係団体と最新の情報について共有するとともに、ゴールデンウィーク期間中の医療提供体制を確保（県内統一的に実施）
 - ・発熱等診療医療機関
 - ・保険薬局
- 発熱患者診療体制の構築
 - ・令和3年4月1日以降、症状がある市民から新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターに問い合わせがあった際、お近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
 - ・令和3年11月1日以降は、発熱等診療医療機関の情報を市ホームページにも掲載し、市民が医療機関情報によりアクセスしやすい環境を整えた。
- 患者等のPCR検査実施医療機関等までの搬送支援の実施
 - ・専用車両で民間事業者への委託により搬送を実施
 - ・R2.5/11～R4.4.20の搬送実績は692営業日で、計3,163件（1日平均4.57件）
- 自宅療養者対策
 - ・令和3年12月23日に市医師会、市薬剤師会と地域療養に関する協定を締結し、自宅療養者に対する医療支援体制の強化を図った。
 - ・令和4年度も協定を締結し、継続して実施している。
 - 市医師会：自宅療養者の患者宅への往診等
 - 市薬剤師会：自宅療養者の患者宅への薬の配達等
- 生活保護の申請相談の状況
 - ・相談件数 878件（3/1～3/31）（前年同月件数870件）
 - ※うち働きによる収入の減少を理由とした相談件数 95件（10.8%）
 - ・申請件数 298件（3/1～3/31）（前年同月件数311件）
- 住居確保給付金制度（家賃補助）
 - ・申請件数 2,341件（R3年度）（R2年度 5,972件）
 - ・支給決定件数 1,811件（R3年度）（R2年度 4,473件）
 - ・住居確保給付金専用ダイヤル
 - 受電件数 2,517件（R3年度）（R2年度 5,333件）
 - ・だいJOBセンターへの新規相談件数
 - 電話受付件数 6,592件（R3年度）（R2年度 9,488件）
 - 来所相談件数 1,416件（R3年度）（R2年度 1,819件）
- 一時的な資金の緊急貸付
 - ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口（各区福祉パル）において実施
 - ※緊急小口資金、総合支援資金（初回貸付）の申請受付は、令和4年6月末まで
 - 総合支援資金（再貸付）の申請受付は、令和3年12月末まで
 - ・相談件数118,688件、申請受付件数が32,450件（緊急小口資金：社協受付分18,523件、総合支援資金：初回貸付13,927件）となっている。（R2.3/25～R4.3.31）
- 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・ 社会福祉協議会が実施する特例貸付の利用が終了し、なお生活に困窮している世帯に対し、就労自立や生活保護の受給に円滑につなげるための支援金を支給・ 申請件数 1,943 件（7月～R4.3月末）・ 支給決定件数 1,387 件（7月～R4.3月末）・ 自立支援金コールセンター受電件数 7,082 件（7月～R4.3月末） |
|--|--|

新型コロナウイルス対策に関する対応状況

健康福祉

○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況

- ・本市発表陽性者数：127,098人
- ・死亡者数：314人
- ・感染経路：家族内13,445人、陽性者と接触8,525人、その他6（ライブ、海外渡航等）、不明・調査中105,122人 ※令和4年3月9日公表分まで
- ・市健康安全研究所における検査人数：65,339人、検査数：65,241件 ※3月9日現在
- ・民間検査機関における検査人数：466,756人、検査数：466,713件 ※3月9日現在

○新型コロナウイルスワクチン 接種状況

- ・接種回数：1回目1,203,654回・2回目1,197,316回・追加367,263回・合計2,768,233回
- ・接種率（全対象者）：1回目88.08%・2回目87.62%・追加28.45% ※3月9日現在

○川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター 24時間対応

- ・令和2年11月2日、神奈川県発熱等診療予約センターが開設したことに伴い、症状があり受診を希望する市民に対して予約センターの案内を行う。令和3年4月1日以降は、症状がある市民にお近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・なおコールセンターは、令和3年4月1日から川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターと名称を変え、新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせだけでなく、新型コロナワクチンに関する一般的な問い合わせにも対応している。令和3年5月10日からはコロナワクチン副反応、令和3年7月からはワクチンパスポートの問い合わせ窓口としての役割も担い、幅広く市民の相談窓口として機能している。

○神奈川モデルにおける機能別医療機関の病床確保状況

- ・高度医療機関（重症者対応）3施設 69病床
 - ・重点医療機関（中等症者対応）13施設 386病床
 - ・重点医療機関協力病院（軽・中等症者対応）3施設 22病床
 - ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）18施設 89病床
- ※3/9時点。今後も感染状況を踏まえた病床の確保を図る。

○川崎市中和抗体療法搬送調整センター ※令和3年10月18日から開始

- ・新型コロナの治療薬である中和抗体薬を、本市民により速やか且つ円滑に投与をすることを目的として、「川崎市中和抗体療法搬送調整センター」を設置し、患者と医療機関のマッチングを行っている。
- ・現時点での調整件数は、223件（10/18～3/9）

○高齢者施設等における従事者へのPCR検査の実施

- ・令和3年5月14日から令和4年3月31日まで、神奈川県が日本財団と協定を結び、高齢者施設等において希望する従事者に対して、WEBフォームからの申込により、毎週、無料のPCR検査の実施が可能となっている。

○市医師会、市薬剤師会、市看護協会との情報共有及び協力体制の構築

- ・市内医療関係団体とオミクロン株について情報共有するとともに、協力を依頼し、年末年始の医療提供体制強化を図った。

市医師会：年末年始の休日急患診療所における診療・検査等

市薬剤師会：年末年始の患者宅への薬の配達等

○発熱患者診療体制の構築

- ・令和3年4月1日以降、症状がある市民から新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターに問い合わせがあった際、お近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。
- ・令和3年11月1日以降は、発熱等診療医療機関の情報を市ホームページに掲載し、市民が医療機関情報によりアクセスしやすい環境を整えた。

○患者等のPCR検査実施医療機関等までの搬送支援の実施

- ・専用車両で民間事業者への委託により搬送を実施
- ・R2.5/11～R4.3.9の搬送実績は650営業日で、計2,811件（1日平均4.32件）

○自宅療養者対策

- ・令和3年12月23日に市医師会、市薬剤師会と地域療養に関する協定を締結し、自宅療養者に対する医療支援体制の強化を図った。

市医師会：自宅療養者の患者宅への往診等

市薬剤師会：自宅療養者の患者宅への薬の配達等

○生活保護の申請相談の状況

- ・相談件数 769件（2/1～2/28）（前年同月件数715件）
※うち働きによる収入の減少を理由とした相談件数 82件（10.7%）
- ・申請件数 283件（2/1～2/28）（前年同月件数257件）

○住居確保給付金制度（家賃補助）

- ・申請件数 2,128件（R3.4月～R4.2月末）（R2年度 5,972件）
- ・支給決定件数 1,694件（R3.4月～R4.2月末）（R2年度 4,473件）
- ・住居確保給付金専用ダイヤル
受電件数 2,334件（R3.4月～R4.2月末）（R2年度 5,333件）
- ・だいJOBセンターへの相談件数
電話受付件数 6,372件（R3.4月～R4.2月末）（R2年度 9,488件）
来所相談件数 1,270件（R3.4月～R4.2月末）（R2年度 1,819件）

○一時的な資金の緊急貸付

- ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口（各区福祉パル）において実施
※緊急小口資金、総合支援資金（初回貸付）の申請受付は、令和4年6月末まで
総合支援資金（再貸付）の申請受付は、令和3年12月末まで
- ・相談件数113,812件、申請受付件数が31,404件（緊急小口資金：社協受付分17,954件、総合支援資金：初回貸付13,450件）となっている。（R2.3/25～R4.1.31）

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金

- | | |
|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・社会福祉協議会が実施する特例貸付の利用が終了し、なお生活に困窮している世帯に対し、就労自立や生活保護の受給に円滑につなげるための支援金を支給・申請件数 1,701 件（7月～R4.2月末）・支給決定件数 1,186 件（7月～R4.2月末）・自立支援金コールセンター受電件数 6,147 件（7月～R4.2月末） |
|--|--|

新型コロナウイルス対策に関する各局区の対応状況（令和2年5月26日以降）

今回追加修正として、令和2年11月7日から令和3年12月24日までの期間分を反映してください。

カテゴリ	実施概要
健康福祉	<p>○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市発表陽性者数：40,217人 ・療養終了者数：32,802人 ・死亡者数：244人 ・感染経路：家族内7,819人、陽性者と接触5,937人、その他6（ライブ、海外渡航等）、不明・調査中26,455人 ※令和3年12月21日公表分まで ・市健康安全研究所における検査人数：56,334人、検査数：56,236件 ※12月21日現在 ・民間検査機関における検査人数：285,459人、検査数：285,416件 ※12月21日現在 <p>○新型コロナウイルスワクチン 接種状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・接種回数：1回目1,162,108回・2回目1,155,184回・合計2,317,292回 ・接種率（全対象者）：1回目85.04%・2回目84.53% ※12月21日現在 <p>○川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター 24時間対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月2日、神奈川県発熱等診療予約センターが開設したことに伴い、症状があり受診を希望する市民に対して予約センターの案内を行う。令和3年4月1日以降は、症状がある市民にお近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。 ・なおコールセンターは、令和3年4月1日から川崎市新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターと名称を変え、新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせだけでなく、新型コロナワクチンに関する一般的な問い合わせにも対応している。令和3年5月10日からはコロナワクチン副反応、令和3年7月からはワクチンパスポートの問い合わせ窓口としての役割も担い、幅広く市民の相談窓口として機能している。 <p>○神奈川モデルにおける機能別医療機関の病床確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度医療機関（重症者対応）3施設 69病床 ・重点医療機関（中等症者対応）13施設 386病床 ・重点医療機関協力病院（軽・中等症者対応）3施設 22病床 ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）18施設 89病床 <p>※12/20時点。今後も感染状況を踏まえた病床の確保を図る。</p> <p>○川崎市中和抗体療法搬送調整センター ※令和3年10月18日から開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの治療薬である中和抗体薬を、本市民により速やか且つ円滑に投与をすることを目的として、「川崎市中和抗体療法搬送調整センター」を設置し、患者と医療機関のマッチングを行っている。 ・現時点での調整件数は、11件（10/18～12/20） <p>○高齢者施設等における従事者へのPCR検査の実施</p>

- ・令和3年5月14日から令和4年3月31日まで、神奈川県が日本財団と協定を結び、高齢者施設等において希望する従事者に対して、WEBフォームからの申込により、毎週、無料のPCR検査の実施が可能となっている。

○市医師会、市薬剤師会、市看護協会との連携

- ・令和3年8月から9月の第5波の患者急増時に、市内医療関係団体と連携し、自宅療養者に対する医療支援体制の強化を図った。

市医師会：自宅療養者の患者宅への往診等

市薬剤師会：自宅療養者の患者宅への薬の配達等

市看護協会：自宅療養者への健康観察の架電業務等

○発熱患者診療体制の構築

- ・令和3年4月1日以降、症状がある市民から新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンターに問い合わせがあった際、お近くの発熱患者等診療医療機関を直接案内し、市民がより医療につながりやすい体制をとっている。

- ・令和3年11月1日以降は、発熱等診療医療機関の情報を市ホームページに掲載し、市民が医療機関情報によりアクセスしやすい環境を整えた。

○患者等のPCR検査実施医療機関等までの搬送支援の実施

- ・専用車両で民間事業者への委託により搬送を実施
- ・R2.5/11～R3.12/20の搬送実績は571営業日で、計2,046件（1日平均3.58件）

○自宅療養者対策

- ・自力では健康観察が困難な自宅療養者に対して、訪問看護ステーションから看護師を派遣して、健康状態を把握 実績：15件（8/1～9/30）
- ・医師会、薬剤師会等の市内医療関係団体と連携し、自宅療養者への往診、電話診療、薬剤の自宅配送を実施 実績：往診34件、電話診療13件（9/1～9/30）
- ・自宅療養者全員の健康状態を把握し、ハイリスク者に対して架電し必要な対応を行うことを目的に、保健所に療養支援担当を設置（9/1～）

○生活保護の申請相談の状況

- ・相談件数 867件（11/1～11/30）（前年同月件数792件）
※うち働きによる収入の減少を理由とした相談件数 99件（11.5%）
- ・申請件数 324件（11/1～11/30）（前年同月件数344件）

○住居確保給付金制度（家賃補助）

- ・申請件数 1,720件（R3.4月～11月末）（R2年度 5,972件）
- ・支給決定件数 1,387件（R3.4月～11月末）（R2年度 4,473件）
- ・住居確保給付金専用ダイヤル
受電件数 1,782件（R3.4月～11月末）（R2年度 5,333件）
- ・だいJOBセンターへの相談件数
電話受付件数 5,507件（R3.4月～11月末）（R2年度 9,488件）
来所相談件数 897件（R3.4月～11月末）（R2年度 1,819件）

○一時的な資金の緊急貸付

- ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口（各区福祉パル）において実施
※緊急小口資金、総合支援資金（初回貸付）の申請受付は、令和4年3月末まで

	<p>総合支援資金（再貸付）の申請受付は、令和3年12月末まで</p> <ul style="list-style-type: none">・相談件数 104,030 件、申請受付件数が 28,841 件（緊急小口資金 16,920 件、総合支援資金 11,921 件）となっている。（R2.3/25～R3.10/30） <p>○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金</p> <ul style="list-style-type: none">・社会福祉協議会が実施する特例貸付の利用が終了し、なお生活に困窮している世帯に対し、就労自立や生活保護の受給に円滑につなげるための支援金を支給・申請件数 1,033 件（7月～11月末）・支給決定件数 796 件（7月～11月末）・自立支援金コールセンター受電件数 3,965 件（7月～11月末）
--	---

新型コロナウイルス対策に関する各局区の対応状況（5月26日以降）

カテゴリ	実施概要
健康福祉	<p>○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況（※アンダーラインの項目は別途報告）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市発表陽性者数：1,298人 ・退院者数：253人、療養終了者数：765人 ・死亡者数：32人 ・感染経路：家族内192人、陽性者と接触341、その他11（ライブ、海外渡航等）、不明・調査中754人 ※令和2年9月14日現在 ・市健康安全研究所における検査人数：10,682人、検査数：10,589件 ※9月14日現在 ・民間検査機関における検査人数：16,823人、検査数：16,819件 ※9月14日現在 <p>○川崎市帰国者・接触者相談センター ※5月1日より21時まで対応時間延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点での相談受付数は 28,020件（2月10日～9月13日） <p>○川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター ※5月1日より24時間対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点での相談受付数は 35,017件（2月20日～9月13日） <p>○神奈川モデルにおける機能別医療機関の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度医療機関（重症者対応）2施設 30病床 ・重点医療機関（中等症者対応）5施設 150病床 ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）11施設 83病床 <p>※10/30時点。今後も感染状況を踏まえた病床の確保を図る。</p> <p>○PCR 集合検査場を市内3か所で運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市医師会に運営を委託し、5/11(月)に2か所、12(火)に1か所を開設。 ※ 設置場所は、円滑な運営と患者のプライバシーを守るため非公表。 ・各検査場は、週3～4日、13～15時に稼働。（7/16～運営日の一部拡大） <p>○各診療所における検体採取及び検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市医師会と集合契約を締結し、各診療所でも検体採取及び検査が可能な体制を整えた。（7/15～） ・実施診療所数 66診療所 ※9/11時点 <p>○患者等のPCR検査実施医療機関等までの搬送支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用車両3台体制(8/1より1台増)で、民間事業者への委託により実施 ・5/11～10/31の搬送実績は157営業日で、計425件（1日平均2.71件） ※5月実績：24件（1日平均約1.33件） 6月実績：34件（1日平均約1.31件） 7月実績：93件（1日平均約3.72件） 8月実績：110件（1日平均約4.07件） 9月実績：93件（1日平均約3.1件） 10月実績：71件（1日平均約2.29件） <p>○生活保護の申請相談の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 810件（9/1～9/30）（前年同月件数759件） ※うちコロナ関連相談件数 67件（8.3%）

- ・申請件数 315件 (9/1～9/30) (前年同月件数 302件)

○**住居確保給付金制度 (家賃補助)**

- ・申請件数 4,210件 (4月～10月末)
- ・支給決定件数 3,059件 (4月～10月末)
- ・住居確保給付金専用ダイヤル (6月5日 (金) 開設 (8回線))
受電件数 3,296件 (6月5日～10月末)
- ・だいJOBセンターへの相談件数
電話受付件数 6,064件 (4月～10月末)
来所相談件数 1,249件 (4月～10月末)

○**一時的な資金の緊急貸付**

- ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口 (各区福祉パル) において実施。
- ・相談件数 36,348件、申請受付件数が 14,715件 (緊急小口資金 9,490件、総合支援資金 5,225件) となっている。(3/25～10/30)

新型コロナウイルス対策に関する各局区の対応状況（5月26日～7月29日）

カテゴリ	実施概要
健康福祉	<p>○新型コロナウイルス感染症 市内発生状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市発表陽性者数：521人 ・退院者数：140人、療養終了者数：232人 ・死亡者数：24人 ・感染経路：家族内74人、陽性者と接触117、その他11（ライブ、海外渡航等）、不明・調査中319人 ※令和2年7月28日現在 ・市健康安全研究所における検査人数：6,199人、検査数：6,292件 ※7月28日現在 ・民間検査機関における検査人数：6,395人、検査数：6,396件 ※7月28日現在 <p>○川崎市帰国者・接触者相談センター ※5月1日より21時まで対応時間延長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点での相談受付数は 21,492件（2月10日～7月28日） <p>○川崎市新型コロナウイルス感染症コールセンター ※5月1日より24時間対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点での相談受付数は 24,366件（2月20日～7月28日） <p>○神奈川モデルにおける機能別医療機関の確保状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度医療機関（重症者対応）2施設 28病床 ・重点医療機関（中等症者対応）6施設 191病床 ・重点医療機関協力病院（疑似症者対応）5施設 51病床 <p>※7月1日時点。今後も感染状況を踏まえた病床の確保を図る。</p> <p>○PCR 集合検査場を市内3か所で運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市医師会に運営を委託し、5/11(月)に2か所、12(火)に1か所を開設。 ※ 設置場所は、円滑な運営と患者のプライバシーを守るため非公表。 ・各検査場は、週3～4日、13～15時に稼働。（7/16～運営日の一部拡大） <p>○各診療所における検体採取及び検査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市医師会と集合契約を締結し、各診療所でも検体採取及び検査が可能な体制を整えた。（7/15～） ・実施診療所数 30診療所 ※7/27時点 <p>○患者等のPCR検査実施医療機関等までの搬送支援の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専用車両2台体制で、民間事業者への委託により実施 ・5/11～7/25の搬送実績は64営業日で、計133件（1日平均約2件） ※5月実績：24件（1日平均約1.33件） 6月実績：34件（1日平均約1.31件） 7月実績：75件（1日平均約3.75件）7/25時点 <p>○特別定額給付金の給付状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支給決定数611,209件（給付率80.1%、全申請数762,710件）7/28時点 ※令和2年7月末時点見込み給付率90.0% ・コールセンター問合せ件数87,804件（現在55名で対応）7/27時点 ・相談員問合せ件数:10,078件（現在28名で対応）7/27時点 <p>○生活保護の申請相談の状況</p>

- ・相談件数 573 件 (7/1～7/21) (前年同月件数 883 件)
※うちコロナ関連相談件数 69 件 (12.0%)
- ・申請件数 221 件 (7/1～7/21) (前年同月件数 394 件)

○**住居確保給付金制度 (家賃補助)**

- ・申請件数 2,378 件 (4月～7月24日)
- ・支給決定件数 1,942 件 (4月～7月24日)
- ・住居確保給付金専用ダイヤルを6月5日(金)に開設(8回線)
受電件数 1,767 件 (6月5日～7月24日)
- ・だいJOBセンターへの相談件数
電話相談件数 3,782 件 (4月～7月24日)
来所相談件数 872 件 (4月～7月24日)
※電話相談のうち、6月までは約9割が住居確保給付金についての相談であり、電話相談後、郵送申請をしている。
※来所相談のうち、5月は約8割が住居確保給付金についてであったが、6月以降は、収入・生活費や就労等、住居確保給付金以外の相談が増加している。

○**一時的な資金の緊急貸付**

- ・休業や失業等により生活資金でお悩みの方々に向けた、緊急小口資金などの特例貸し付けを、市内社会福祉協議会の窓口(各区福祉パル)において実施。
- ・相談件数 19,846 件、申請受付件数が 9,455 件(緊急小口資金 6,710 件、総合支援資金 2,745 件)となっている。(3/25～7/22)